

## 国際シンポジウム：東アジアの住民自決権から考える立憲主義と社会運動

【日時】 2016年3月22日（火） 13:00～17:30

【会場】 早稲田大学1号館4階401号室

【言語】 日本語

【対象】 学生・教職員・一般

### 趣旨：

いま、住民自決権は重要なグローバルイシューのひとつとして世界各地でさまざまな議論が交わされている。欧米圏でも、アイルランド・スコットランド・カタルーニャ・ケベックをめぐる議論は大きな注目を集めたことは記憶にあたらしい。また、アジアに目を向ければ、より民主的な社会を求めるうねりが各地で巻き起こっている。こうした世界的な議論の潮流は、住民自決権の問題を個別地域の境界の内部におしとどめておける次元を越えて、東アジア・東南アジア全体で、社会的な公正さや平和的な社会秩序の実現、そして、これらの礎となる歴史的和解を促すための議論にも結びついてくる。

当シンポジウムでは、台湾と沖縄における住民自決権や立憲主義の再生といった地域の枠組を超えて共通する重要な課題をめぐる討議を通じて、人権を国際的にも保障することを出発点として、より民主的で平和な秩序を構築するための可能性を模索する。

### プログラム：

司会：江上能義（早稲田大学）

12:30 開場

13:00－13:10 開会挨拶・趣旨説明

13:10－14:40

琉球沖縄への歴史的不正義と人民の自決権

島袋純（琉球大学）

14:50－16:20

台湾における住民自決権の重層的構造－原住民独立運動を中心に

呉豪人（台湾輔仁大学）

16:30－17:30 総合討論

【共催】 早稲田大学現代政治経済研究所、台湾研究所

以上